

こんなとき、どうする？  
自分で自分を守る

# みんなの安全

一年～六年用



- ◆ 児童の生活実態と発達段階に即した短時間で指導しやすい単元構成
- ◆ 自主的に学習できるワークシート形式
- ◆ 親しみやすい三河の子どもの作文や最新の愛知県の資料の掲載
- ◆ 豊富な写真やイラストで児童にとって分かりやすい紙面構成

**④ 地しんのときのひなん**

**ねらい**  
地震発生時にいる場所によって、安全な避難場所を選ぶことができるようになる。

**学習活動**  
1. 地震が起きたときに自分がいる場所によってどこが安全なのかをつかむ。  
2. 自分の地域にある避難場所を理解する。

**教師の働きかけ**

- 1 運動場や公園などの広い場所へ避難する。
- 2 ブロック塼は崩れる危険性が高いので、離れて歩くようにする。
- 3 狭い路地は建物崩れによる危険がある。建物の窓からガラスが飛び散ることもある。
- 4 電柱や支柱、像なども倒れる危険性がある。
- 5 屋内にいるときには机の下にもぐる。
- 6 登下校の途中では、学校から大きく離れていなければ、学校に避難すると安全である。
- 7 自分の地域にある避難場所の表示板を確認できるようにする。

**指導上の留意点**  
自分の生活行動の範囲内で、実際に危険箇所を調べようようにさせる。

**評価の観点**  
○地震が起きたときに自分がいる場所によって、どのように安全を確保したらよいかを理解したか。

**実践生活へのくふう**  
○デパートや交通機関内などにいる場合は、放送などをよく聞き、従業員等の指示に従うようにする。

**児童書 P.34～35**

**資料 安全点検表 (家庭用)**

点検する事から	○をつけるところ		
	月	月	月
火を扱う物のそばに、もえやすい物がないか。(上から落ちてこないか。)			
消火器、消火バケツはそなえてあるか。			
家具がたおれないように固定してあるか。			
高い所に置いてある物が落ちないようにしてあるか。			

大地震、豪雨等の自然災害、交通安全、学校内外での事故等、今まさに今日的な課題に具体的な指導ができる刊行物です。



4年教師用指導書より

シールを使っでの授業の様子